# 第１号議案

## 令和７年度　事業報告

### *親子のふれあいの場づくりと、
### 子育てに悩む親の支援に関する事業＊

| １　もんぜんぷら座こども広場 | 回数 | 参加人数 |
|---|---|---|
| 近年の少子化と身近に親子が行ける施設が増えたことなどにより、令和７年度は来館者数が伸び悩んだ。選ばれる施設、また来たいと思われる施設となるよう、工夫しながらの１年であった。特に０歳児の来館人数が少なかったので、初めてのお出かけがしやすいような配慮を行った。 | | |
| **Ⅰ　実施事業** | | |
| **１　子育て中の親とこどもの交流に関する事業** | | |
| ア　ねんねの会　毎月２回 | 24 回 | 214 組 |
| イ　赤ちゃんのお部屋　土日・祝日・長期休み | | 13 組 |
| ウ　手形をとりませんか？　毎月１週間 | 12 回 | 159 組 |
| ・上記の他、開館日には毎日「手あそび」や「うた」「体を使ったあそび」などを行った | | |
| **２　子育てに関する相談** | | |
| ア　おしゃべり会の開催 | | |
| ・　年齢別おしゃべり会　０歳児（ねんねの次の会） | 12 回 | 202 組 |
| １歳児 | 12 回 | 206 組 |
| ２・３歳児 | 12 回 | 64 組 |
| ・　はじめてのながのウェルカム交流会 | 6 回 | 38 組 |
| イ　専門家相談 | | |
| ・「こどものこころとからだの相談室」小児科医（第１木）14 時～16 時 | 11 回 | 37 件 |
| ・「歯科相談」　歯科医師　月１回不定期 | 12 回 | 107 件 |
| ・「お食事なんでも相談」栄養士１名（第１，３木）10 時 30 分～16 時 10 分 | 22 回 | 58 件 |
| ・「妊娠・出産・母乳相談」助産師３名（第３金）13 時～15 時 | 12 回 | 80 件 |
| ・「お母さんの心の相談室」（第２土） | 12 回 | 12 件 |
| ・「療育相談」療育コーディネーター　月１回 10 時 30 分～14 時 | 12 回 | 11 件 |
| ・「就業相談」女性就業相談員、女性就業アドバイザー（第２金） | 11 回 | 8 件 |
| ウ　配慮が必要な子育て家庭への支援 | 毎日 | 265 件 |
| エ　子育て相談　毎日　スタッフ | 毎日 | 1,229 件 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| | 子育てコンシェルジュ | 毎日 | 1,776 件 |
| | **3　子育てグループ等の育成** | | |
| | ア　子育てグループへの遊びなどの指導者派遣 | | |
| | 第三地区「サンサン広場」 | 11 回 | 43 組 |
| | 浅川社会福祉協議会「アップルキッズ」 | 2 回 | 16 組 |
| | イ　子育てグループへの活動スペースの提供<br>3 グループ登録 | 14 回 | 64 組 |
| | ウ　子育てグループの紹介<br>「長野市子育て支援ガイドブック」をホール内に設置すると共に問い合わせに対しては随時対応した | | |
| | エ　子育てグループ代表者会議の開催 | 中止 | |
| | **4　子育てに関する情報の提供** | | |
| | ア　子育て情報の掲示板の活用<br>・利用者からの情報や子育てグループが製作している情報誌等を設置 | | |
| | イ　子育てに関するイベント、団体の情報の掲示<br>・イベント情報の掲示板を活用し、長野市内にとどまらず子育てに関するＮＰＯグループの情報を掲示 | | |
| | **5　あそびに関する指導及び助言**<br>子育て中の親とこどもの交流に関する事業に含む | | |
| | **6　子育て情報誌の発行** | | |
| | 子育て情報誌「じゃん・けん・ぽん」の発行（隔月）6 回発行 | 6 回 | 12,000 部 |
| | **7　子育て講座、イベントの開催** | | |
| | ア　子育て講座 | | |
| | ・　子育てお助けセミナー | | |
| | 保育所・幼稚園選びについて | 2 回 | 61 組 |
| | 個別相談　7 組 | | |
| | 乳幼児の口腔ケア | 1 回 | 7 組 |
| | 小児科医からの子育てアドバイス | 1 回 | 8 組 |
| | ・　食育講座　2/9 | 1 回 | 7 組 |
| | ・　わんぱく散髪講座　6/24.1/27 | 2 回 | 19 組 |
| | ・　アートプログラム | 1 回 | 12 組 |
| | ・　休日マタニティセミナー | 12 回 | 192 組 |
| | ・　親子で絵本タイム | 12 回 | 119 組 |
| | ・　NP 講座（全６回）8/29～10/3　参加 7 組 | 6 回 | 21 組 |
| | ・　心肺蘇生法講座 | 1 回 | 10 組 |
| | ・　防災講座　9/11 | 1 回 | 10 組 |
| | ・　足育講座　2/11 | 1 回 | 20 組 |
| | ・　パパの料理教室　3/8 | 1 回 | 5 組 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| | イ　ながのわくわくパパ講座（実行委員会：スマイルパパ部） | | |
| | ・Zoom を利用してのオンライン講座として実施<br>7/20、12/5　　いずれも金曜日 | 2 回 | 9 人 |
| | ・公園等で集合講座を企画<br>5/18、11/24、1/17、2/15 | 4 回 | 34 組 |
| | ・じゃん・けん・ぽんでパパスペシャル講座　6/14、8/23 | 2 回 | 38 組 |
| | ウ　イベント | | |
| | ・　じゃん・けん・ぽんバースディ | 6 月 1 日 | 29 組 |
| | ・　親と子の歯のつどい | 6 月 5 日 | 15 組 |
| | ・　七夕 | 7 月 9 日 | 35 組 |
| | ・　運動会 | 10 月 8 日 | 30 組 |
| | ・　クリスマス会 | 12 月 12 日 | 54 組 |
| | ・　まめまき | 2 月 3 日 | 60 組 |
| | ・　ひなまつり | 3 月 2 日 | 30 組 |
| | ・　冬のあそび広場 2026 | 2 月 7～8 日 | 16 組 |
| | **8　訪問型子育て支援事業**<br>妊娠期～6 歳未満の子どものいる家庭へ途切れのない支援 | | |
| | ・利用者の状況<br>新規利用者　64 人、継続利用者 17 人<br>産前新規利用者　8 人、継続利用者　1 人<br>延べ訪問回数　　オーガナイザー＋ビジター　460 回 | | |
| | ・スキームの状況<br>基本：オーガナイザー４人、<br>登録ホームビジター51 人（活動 HV25 人）<br>産前：オーガナイザー２人、<br>登録ホームビジター31 人（活動 HV17 人） | | |
| | ・ホームビジター説明会：もんぜんぷら座　　9/12 | 1 回 | 2 人 |
| | ・ホームビジター養成講座　　6 人<br>10/10～11/21　毎週金曜日 | | |
| | ・ホームビジタースキルアップ講座 | | |
| | ①　手作りおもちゃ | 5 月 15 日 | 4 人 |
| | ②　小児科ってどんなところ？！　　増田医院増田英子医師 | 7 月 1 日 | 10 人 |
| | ③　傾聴講座　　尾島万里公認心理士 | 9 月 8 日 | 11 人 |
| | ④　社会的養護と児童虐待　　松代福祉寮　宮下孝子さん<br>ファミサポと協働 | 12 月 11 日 | 7 人 |
| | ⑤　小さな赤ちゃんのために数珠を作るワークショップ | 2 月 11 日 | 5 人 |
| | ・ＯＧスキルアップ・研修<br>ホームスタート・ジャパン等が開催するオンライン研修等に参加 | | |
| | ・運営委員会<br>3 月 12 日 | | 4 人 |
| | **9　利用者支援事業**<br>・子育てコンシェルジュを配置し、子育て支援の情報提供を行った<br>月・火・木・金・土・日 | | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| | ・相談の人数　　面接：1,743 人　　電話：33 人<br>・利用の状況<br>ケース数：150 件<br>相談件数：1,763 件<br>内訳　情報提供：940 件、他の支援につなぐ：82 件<br>同行支援：16 件、訪問：0 件、その他：11 件<br>傾聴：734 件 | | |
| | **10　その他子育て支援に関すること** | | |
| | ア　世代間交流事業 | | |
| | ・　折り紙講座（シニア講師）　月１～２回 | 21 回 | 204 組 |
| | イ　ボランティアの受け入れ | | |
| | ・　ばぶちゃんからのおはなし・わらべうた（語り）　月１回 | 12 回 | 104 組 |
| | ・　ベビーマッサージ　月１回 | 12 回 | 142 組 |
| | ・　おもちゃ病院の開催　月１回 | 12 回 | 184 組 |
| | ・　みんなで歌おう（長野少年少女合唱団）　月１回 | 9 回 | 86 組 |
| | ・　絵本の読み聞かせ（おはなしボランティア）　月１回 | 6 回 | 72 組 |
| | ・　交通安全のおはなし　年 6 回 | 6 回 | 70 組 |
| | ・　マザーグースの手遊び　年 6 回 | 4 回 | 57 組 |
| | ・　ママのためのハンドマッサージ　年 6 回 | 6 回 | 42 組 |
| | ・　楽しくはみがき | 3 回 | 34 組 |
| | ・　クリスマスコンサート（長野フィル） | 1 回 | 67 組 |
| | ＊　ボランティアの受け入れ<br>社会人　493 人、　学生　153 人、　合計　661 人<br>(サマーチャレンジボランティア…53 人<br>地域まるごとキャンパス…8 人を含む) | | |
| | ウ　リユースマーケット　　毎月月末約 1 週間 | 12 回 | |
| | エ　出張広場 | | |
| | ・　ゆりかごの会（月１回　第２火曜日イーストプラザ）<br>大勢の人のいる所に来られないお母さんのための広場を開催 | 12 回 | 47 組 |
| | ・　あそびましょう（東部保健センター）　月 2 回<br>じゃん・けん・ぽんへなかなか来られない地域東部保健センターに出向き、「あそびましょう」を開催 | 24 回 | 288 組 |
| | ・　ふたご・みつご広場(北部保健センター)月 1 回(第 1 月曜日)<br>長野市保健所との協働事業、北部保健センターと共催<br>多胎児親子向けの遊びの広場を運営 | 12 回 | 81 組 |
| | オ　子育て中のお母さんのためのリフレッシュ講座 | | |
| | ・　スノードームを作ろう | 2 回 | 6 組 |
| | ・　ママパパベビーのハピネスアワー | 1 回 | 9 組 |
| | カ　地域連携事業 | | |
| | ・　権堂七夕まつりに出展　7/19～8/7 | | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| | ・　灯明まつり「ゆめ灯り絵展」に出展　　2/7～2/11<br>・　まちなかリユースマーケット　　4/13、11/8　　2回　　230人<br>・　ながの子ども・子育て応援フェスティバル　　11/9<br>・　地域まるごとキャンパス2024に活動フィールド参加<br>主催　ながの協働ねっと，(特非) 長野県NPOセンター<br>4名、各3日　　延べ12日<br><br>**Ⅱ　その他**<br>ア　教育機関との連携<br>長野市キャリア教育推進事業「赤ちゃんだっこ」<br>説明会　5/26　　1回　　19組<br>７校　14学級　　14回　　68組<br>長野県立大学健康発達学部こども学科<br>「赤ちゃんママのおしゃべり会」　　3回　　48組<br>長野看護専門学校臨地実習　母性看護実習　　各2日　　46人<br>清泉大学看護学部　　看護実習　　10回　　75人<br>清泉大学短期大学部幼児教育学科演習「子育て支援」　見学実習　　9回　　68人<br>清泉大学　インターンシップ　　1人<br>長野市立長野中学校<br>翼学習アンケート　　6人<br>職場体験　　5人<br>長野市立裾花中学校　職場体験　　3人<br><br>イ　行政等との連携<br>・　もんぜんぷら座防災訓練に参加　　6月24日、10月24日　　2回　　7人<br><br>ウ　視察・見学<br>・　視察<br>長野市こども未来部・財政課　　8人<br>中野市　　4人<br>明科町　児童館　　10人<br>・　取材に協力<br>信濃毎日新聞社、長野市民新聞、週刊長野、長野朝日放送<br><br>**Ⅲ　令和７年度　利用者数　　３６，３５８人**<br>乳幼児数　１６，１２５人、　小学生　２５１人<br>大人　　１９，９８２人<br><br>令和７年度新規登録者数<br>１，２３５人 | | |
| **２　長野市ファミリー・サポート・センター** | | | |
| | 長野市内における育児の援助を受けたい者（依頼会員）と育児の援助を提供するもの(提供会員)を会員として登録し、会員間による育児の相互援助活動を支援。仕事と育児を両立できる環境を整備し、地域の子育て支援 | | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| | 基盤を整備することにより、保護者等の福祉の増進、及び子どもの健やかな育ちを促進した。<br>　今年度よりデータ管理ソフトをクラウド化した。3月から会員向け説明会を実施している。 | | |
| | **1　実施事業**<br>ア　入会説明会 | | |
| | ・会員登録のために月１回開催 | 14 回 | 136 人 |
| | ・窓口入会 | 随時 | 38 人 |
| | ・訪問入会 | 随時 | 3 人 |
| | ・提供会員向け入会説明会を養成講座前月に年 2 回開催<br>6/28、1/25 | 2 回 | 3 人 |
| | イ　入会者数　　180 人<br>依頼会員　173 人、提供会員　5 人、両方会員　2 人<br>・訪問入会<br>体調の悪い方の自宅へ訪問し、入会説明を行った　3 人 | | |
| | ウ　講習会<br>提供会員・両方会員養成講習会 | 基礎編 | |
| | ・援助活動をするために、知識等を習得する講習会<br>年２回（1 講習５日間）開催<br>今年度より基礎編・応用編に再編し、基礎編修了で基本事業の活動ができるようになった | 7/21～7/26<br>1/26～1/31<br>応用編<br>9/4～9/5 | 延べ 35 人<br>延べ 11 人<br><br>6 人 |
| | ・全講座修了者　２人<br>基礎編　　３人　　応用編　　２人 | 2/26～2/27 | 4 人 |
| | エ　研修会・会員交流 | | |
| | ・提供会員・両方会員研修会・懇談会（HS と共催）<br>「児童虐待と社会的養護」 | 12 月 11 日 | 8 人 |
| | ・ふぁみさぽひろば・全体交流会（こども広場と共催）<br>「心肺蘇生法」 | 6 月 30 日 | 8 人 |
| | ・全体交流会<br>「フラワーアレンジメント」 | 12 月 14 日 | 9 人 |
| | オ　活動件数　　１，７３９件（内　病児・病後児　１）<br>（内　事前打ち合わせ件数　　６４件）<br>会員数　　１，６４７人<br>依頼会員　1,276 人、提供会員 381 人、両方会員 39 人<br><br>内　病児病後児登録者　　５５９人<br>依頼会員　500 人、提供会員　42 人、両方会員　17 人 | | |
| | **2　日常業務について**<br>・システムのクラウド化を実施<br>会員へ操作説明（R8 年度も継続）<br>活動の手引きの改定、クラウド操作説明マニュアル（依頼会員・提供会員用）を製作<br>・提供会員の感染防止対策として、マスク・除菌ティッシュを配布した。<br>・依頼会員のサポート依頼を受け、提供会員を紹介しコーディネート<br>・提供会員から送られてくる援助提供記録書の管理、情報処理<br>・会員情報の管理 | | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| | ・会員募集　　週刊長野・長野市民新聞等に取材に協力<br>・広報活動…住民自治協の福祉ワーカーを訪問、<br>スポーツクラブへチラシ配布<br>・3か月毎に保育・幼稚園課への活動状況の報告 | | |
| **3　ホームスタート事業** | | | |
| | 家庭内での保育者の孤立感の解消、親の心身の安定を高める、親の子育てへの意欲を高める、親の子育てスキルの学習、問題の発見・モニタリングの目的のため、ホームスタートジャパンの手法を取り入れ、訪問型子育て支援事業「ホームスタート・ながのこどもの城」を運営した。<br>妊娠期から6歳未満の子どものいる家庭に途切れのない支援を行った。<br><br>・第12回ホームビジター養成講座　　参加者6人　（10/10～11/21）<br>・ホームビジターフォローアップ講座　　年5回<br>・トラスティー会議　　運営委員会の開催　　1回 | 5回<br>3月12日 | 37人<br>4人 |
| **4　こども第三の居場所事業<br>（日本財団子ども第三の居場所事業）** | | | |
| | 経済状況や家庭環境に課題を抱える小学生（主に小学校低学年を対象とするが、小学校高学年や中高生の受け入れも可）を中心とする子どもを対象に学習支援に加えて、基本的な生活習慣を身につけるための支援等を行った。11月から送迎の困難な家庭へ送迎支援を週2回行った。<br><br>1　場所　　もんぜんぷら座1階<br>「こども第三の居場所ながのこどもわくわくカフェ」<br><br>2　開催期日　月～金／15：00～20：00　　※第1・3水曜日定休<br>第1・3日曜日／10：00～15：00<br>年間開催数　　245日<br><br>3　参加者数　参加者総数　児童　　1,687人　　1日　平均　6.9人<br>ボランティア　604人　1日平均　　2.5人<br>スタッフ　　830人　1日平均　　3.4人<br><br>4　内容　　学習支援、食事支援、生活支援（居場所の提供、生活相談）<br>☆日曜日には、子どもたちに様々な体験をしてもらえる機会を提供した。<br><br>・　学び屋（第1日曜日）　　食育講座　12回<br>参加者数　　延べ126人　　1回　11人<br>講師：元栄養教諭、栄養士<br>・　ワークショップ（第3日曜日）　　10回<br>参加者数　　延べ　120人　1回10人<br>工作体験、化学実験、祇園祭体験など<br>夏休みチャレンジツアー　7/29～8/12　11回<br>参加者数　　延べ　202人　　1回　18.4人 | 245日<br><br>12回<br><br>10回<br><br>11回 | 1687人<br><br>126人<br><br>120人<br><br>202人 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| | 黒板アート体験、牛乳パック工作、防災ワークショップ等<br>春休みチャレンジツアー　3/21～3/31<br>　参加者数　　124 人　　1 回 17.7 人<br>やしょうまづくり、段ボール工作、大ちゃんと遊ぼう、ワークショップ「こころ・からだ・性の大事」等<br>こどもまんなか会議「みんなで考えよう」9/29　4 人<br>・　毎月第１月曜日　もんぷら保健室　　元養護教諭<br>・　毎月第３火曜日　読み聞かせ JPIC 読書アドバイザー | 7 回<br><br>1 回<br><br>135 人 | 124 人<br><br>4 人 |

5　登録者数　　135 人（2024 年度）

小学生

| 学年 | 1 年 | 2 年 | 3 年 | 4 年 | 5 年 | 6 年 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 人数 | 24 | 18 | 27 | 20 | 10 | 12 |

中学生　　１年生 4 人,　２年生　15 人、　３年生　３人

高校生　　１年生　１人、2 年生　1 人

6　広報

・近隣小学校（鍋屋田、山王、城東、城山、加茂）へのチラシ配布
（４回／6 月、10 月、２月、３月）

・長野市送付のひとり親家庭への通知にチラシ、わくわく通信同封
（１０月／2,500 部）

・活動報告ペーパー「わくわく通信」の発行
（1,500 部／6 月・2 月・３月、2,500 部／10 月）

≪配布先≫

鍋屋田小 179、山王小 164、城東小 352、城山小 332、加茂小 189
他

・ホームページにて、毎日の活動状況をブログとして発信

・登録世帯との連絡手段について、利用者ニーズに応じて、SMS から LINE への変更を調整中

7　外部連携実績　　604 人

＜ボランティア受入れ＞

・地域まるごとキャンパス
・ようこそ森と木ラボ
・長野少年鑑別所

＜地域・教育機関等との連携＞

・教育支援センターSaSaLAND と連携
・新田町、問御所町（7/17 ながの祇園祭）
・長野美術専門学校（7/28.29 黒板アート製作）
・長野市教育委員会（11/24 長野地域多様な学びフォーラム）

＜食材・物資提供＞

・フードバンク信州
・長野地域こどもカフェプラットフォーム
・こども食堂ネットワーク
・JA ながの
・くりのみ園（障がい者支援施設）
・ブックサンタ
・明治製菓
・　ヤマト運輸
・　コープながの

| | | | |
|---|---|---|---|
| | ・近隣の商店及び住人(10 人)<br><br>＜研修・視察受入れ＞<br>・飯綱町社会福祉協議会視察<br>・信州大学附属長野中学校「あさひのプロジェクト」<br>・子どもの居場所担当チーム受け入れ／16 名<br>（7 月 10・11 日、12 月 11 日）<br>・第三地区民生児童委員協議会視察視察　5 月 21 日（火）<br>・新潟市民生委員協議会視察　10 月 17 日（木）<br>・中央高等学院視察<br>・高山村村議会議員研修会　1 月 22 日（水）<br>・長野県小児科医会居場所研修会　3 月 19 日（火）<br><br>・2022 年、2023 年度事業について日本財団監査 11 月 28 日(木) | | |
| 5 | 災害時支援事業<br>(緊急時子ども支援ネットワーク事業) | | |
| | 「台風１９号による被害を受けた子どもとその保護者への支援事業」及び、「長野市における緊急時の子ども支援ネットワーク事業」が多方面で評価され、認定 NPO 法人 JPF からの声がけにより、休眠預金事業として、2024 年 9 月より「緊急時の子ども支援に取り組む地域への災害ケースマネジメントのノウハウ移転事業」をスタート。<br>「令和 5 年度広域活動団体基盤強化配分事業」及び、「令和 5 年度官民連携による被災者支援体制構築モデル事業（子ども支援)」を並走しながら、長野市における緊急時の子ども支援体制強化と、全国各地へのノウハウ移転を進めている。<br><br>事業内容<br>1　緊急時の子ども支援体制の拡大・強化<br>(1)　長野市緊急時の子ども支援ガイドラインの作成・周知<br>・ 印刷・製本、発行(4 月)<br>・ 長野市内外広域（長野県内 77 市町村含む）に配布<br>(2)　緊急時の子どもへの対応ガイドラインの作成<br>・　作成委員会の立ち上げ、実施（12/9）<br>・　ガイドライン作成に向けた研修会の実施　※3（1）へ記載<br>(3)　長野市における子ども支援計画の作成<br>支援計画の作成に向け、長野市内外で実施された訓練に積極的に参画<br><br>2　ネットワーク拡大に向けた活動<br>(1) 運営委員会の実施（①5/1、②7/1、③8/8、④1/6、⑤3/17）<br>(2) 交流会の実施（2/11）<br>地域の子ども支援拠点を活かした災害時の子ども支援のあり方を考える<br>(3)　保育所等の子ども関係機関への参画の呼びかけ<br>(4)　企業への参画の呼びかけ<br><br>3　スキルアップのための活動<br>(1)　学習会の実施<br>①　10/20 緊急時に備え発達の特性に応じた子どもとの関わり方 | 1 回<br><br>1 回<br><br>7 回<br><br>5 回<br>1 回<br><br>随時<br>随時<br><br>3 回 | 10000 部<br>460 部<br><br>6 団体<br>(JPF 含む)<br><br>12 団体<br>26 名<br><br>76 名 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| | を学ぶ<br>② 2/15 遊びを通した子どもの心のケア(JAPT)研修<br>③ 3/9 子どものための心理的応急処置(PFA)研修<br>(2) 子育て世帯向け防災講座の実施<br>(3) 災害支援訓練の実施（地区や学校との共同訓練を想定）<br>(4) 子ども防災ワークショップ<br>（復興イベント、子ども子育てフェスティバル、わくわくカフェ２回）<br>(5) 上述の活動より得られた結果を関係諸団体・諸機関に情報共有<br>・ 国土強靭化「民間の取り組み事例集」に事業掲載される<br>・「台風１９号による被害を受けた子どもとその保護者への支援事業」が休眠預金等活用事業に関する追跡評価ヒアリング対象となる<br><br>4 緊急時の子ども支援コーディネーターの育成<br>(1) ガイドラインの理解を深める学び合い会の実施<br>(2) 緊急時の子ども支援体制構築プログラム（全５回のオンライン研修）<br>(3) 関連する学習会や研修会に参加し、ネットワーク内に共有<br><br>5 外部ネットワーク組織との連携<br>(1) 長野県災害時支援ネットワーク、長野市災害ボランティア委員会と情報共有を図りながら、連携体制を構築<br>(2) 子ども支援だけでなく子どもに関連する多様な分野と情報共有を図りながら、連携体制を構築 | <br><br><br><br>2 回<br>0 回<br>4 回<br><br>随時<br><br><br><br><br><br><br><br>3 回<br>5 回<br>1 回<br><br><br>随時<br><br>随時 | <br><br><br>23 組<br><br>428 名<br><br><br><br><br><br><br>42 名<br>273 名 |

## 6 ながのこども館 ながノビ

| | | | |
|---|---|---|---|
| | 長野市開発公社が指定管理者として運営する「ながのこども館 ながノビ」の１階「森のたんけんひろば」業務を受託し、『子どもたちの生きる力を育む「科学と遊びの森」城山公園屋内体験施設整備事業』に記された事業実施方針に従って、事業計画を立て施設運営を行った。<br><br>運営の基本方針<br>・多くの親子が安心に過ごせるよう、各遊具の遊びのルールや過ごしている際の注意点などを決め、理解したうえで遵守いただけるよう努めた。<br>・衛生管理、安全管理を行い、利用者が安心して過ごせるよう環境設定を行った。<br>・「のびのびパーク」と題して定期的にイベントを企画・実施した。<br><br>1 業務の場所<br>ながのこども館 ながノビ<br>長野市上松２丁目４番５号（旧 少年科学センター）<br><br>2 業務受託期間<br>令和６年７月１日から令和７年３月 31 日まで<br><br>3 開館日<br>月・水・木・金・土・日 の９：30～17：00<br>（休館日：火曜日、年末年始） | | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| | ４　のびのびパーク企画<br>　森のたんけんひろばでの日常的な自由遊びだけでなく、定期的にイベントを開催し、体験・あそびを親子に提供した。<br>(1)　時間　30 分～50 分<br>10：30～11：00/10：30～11：30<br>(2)　開催日<br>・第 2 月曜　　リトミック音楽系<br>・第 2 金曜　　読み聞かせ、紙芝居シアター等<br>・第 3 金曜　　季節の行事<br>・第 4 水曜　　子育てコンシェルジュによる子育て出張相談<br>・第 4 木曜　　体操教室やベビーマッサージ<br>(3)　開催結果<br>① 季節の行事　　10 回<br>② 親子でおはなしなあに　　5 回<br>③ 親子でリトミック　　7 回<br>④ わらべうたベビーマッサージ　3 回<br>⑤ 親子ビクス　　3 回<br>⑥ 親子でアート　　2 回<br>⑦ おでかけコンシェルジュ　　7 回<br><br>５ まとめ<br>・利用者月齢差が大きく、「主な利用者が乳幼児の平日」「団体受け入れの平日」「土日祝日」と客層が大きく違いそれぞれの注意が必要であった。<br>・イベント参加者アンケートによるとイベント満足度は満足・やや満足合わせて 99%。<br>・平日イベント「のびのびパーク」は情報浸透が進まず、参加人数伸び悩んだ。1 月からネット申し込みができるようになり一定数参加があったが募集人数に対して未達であった。特に、平日の乳幼児向けにベビーマッサージを開催したが参加者はわずかだった。<br>・団体受け入れと重複したため、イベント中止または日程変更が 5 回あった。利用者からは「団体が怖いから（利用しない)」との声も直接あり、一般利用者と団体の共存が困難と感じた。 | <br><br><br>

| | | | |
|---|---|---|---|
| | 1　会　場：ながのこどもわくわくカフェ<br>2　参加者：こどもカフェへの参加小学生から高校生<br>毎月　第１日曜日<br>こども広場の子育て中の親子　　１回<br>3　内容：　季節に合わせた食文化を楽しみながら体験 | 12 回<br><br>2 月 9 日 | 126 人<br><br>7 組 |
| 2　冬のあそび広場２０２６ | | | |
| | 1　日時：令和 8 年 2 月 7 日～8 日<br><br>2　内容：牛乳パックで車や電車を作ろう | | 16 組 |

## ＊こどもの活動に取り組む人材育成事業＊

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1　中高生の子育て理解講座の開催 | | | |
| | 1　会場：こども広場じゃん・けん・ぽん<br><br>2　対象：サマーチャレンジボランティアと地域まるごとキャンパスの参加者 | 7/27<br>8/5 | 6 人<br>4 人 |
| 2　地域まるごとキャンパスへの参加 | | | |
| | 高校生以上の学生に、地域・社会づくりの担い手となりうる「市民性」を育むことをねらいとした活動に、短期フィールドとして参加。<br>・こども広場　じゃん・けん・ぽん　　4 名　延べ 14 日<br>・ながのこどもわくわくカフェ　　3 名　延べ 10 日 | | 14 人<br>30 人 |

## ＊こどもの文化芸術に関する事業＊

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1　こどものアートプログラム | | | |
| | ・バッグをローラーでトコトコ～手形・足型でシャン！～<br><br>対　象　　０歳～３歳児とその保護者<br>講　師　　母袋　京子<br>開催場所　　じゃん・けん・ぽん活動室 | 10 月 7 日 | 12 組 |

## ＊子育て情報の交流促進や、子育て情報誌の発行事業＊

| | | | |
|---|---|---|---|
| **1　子育て情報誌じゃん・けん・ぽんの発行** | | | |
| | 子育ち・子育て支援の情報提供や交流を目的に、子育て情報誌じゃん・けん・ぽんを発行し、広場利用者、市内小児科医院や行政、保健センター、支援センター等に配布し、広報した。 | 年6回 | 12,000部 |
| **2　ホームページによる情報提供** | | | |
| | 日々情報を更新。また、昨年に引き続きホームページにブログや新着情報を設け、各事業のスタッフが交代で毎日更新した。<br>ホームページの更新<br>Face book・Instagramへの投稿 | | |
| **3　週刊長野等への情報提供** | | | |
| | 週刊長野へじゃん・けん・ぽん便り「子どもも親も　いきいきと」として、理事交代で、月1回子育ち・子育て支援の情報を提供した。12回<br>モナミ、ほっとパルへも情報の提供をした。 | 毎月 | |

## ＊子育てに関わる各種グループや、機関団体との交流促進事業＊

| | | | |
|---|---|---|---|
| **教育機関との連携** | | | |
| **1　清泉大学短期大学部非常勤講師派遣事業（清泉大学・短期大学との連携事業）** | | | |
| | 清泉大学短期大学部幼児教育学科「子育て支援」授業に非常勤講師としてスタッフ２名を派遣した。また、見学実習の場としてこども広場を提供した。<br><br>1　科目　　子育て支援　１クラス２３人ずつ３クラス　（２年生）<br>2　期日　　令和７年４月１日から令和８年３月31日<br>１クラス１時限　講義90分×6日、<br>見学演習７～８人ずつ　3時間×９日 | 27回 | 69人 |
| **2　長野県立大学健康発達学部こども学科と長野市連携事業** | | | |
| | 長野県立大学健康発達学部こども学科と長野市・長野県立大学連携事業として、「赤ちゃんママのおしゃべり会」を開催した。<br><br>内容：学内に設置されているプレイルームを活用し、初めてママの交流を促進した。<br>年3回　　11月20日、12月15日、12月22日 | 年3回 | 48組 |

## 3　長野看護専門学校

| | | | |
|---|---|---|---|
| | 長野看護専門学校母性保健学講座の臨地実習の場として連携した。<br>参加人数　23 人　　各２日　　延べ 46 人 | | |

## 長野市との連携事業

## 1　長野市キャリア教育推進事業「赤ちゃんだっこ」

| | | | |
|---|---|---|---|
| | 乳幼児とその保護者が長野市内の中学校に出向き、幼児とのふれあいを通して、幼児に関心を持つとともに、自分の成長や家族・家庭、幼児の発達と生活について関心と理解を深め、家族や幼児に積極的にかかわることができるようにする。また、これからの生活を展望して、課題をもって家庭生活をよりよくする態度を育てた。<br>７中学校　　１４学級 | 14 回 | 85 組 |

## 2　令和７年度ながの子ども・子育てフェスティバル

| | | | |
|---|---|---|---|
| | ながの子ども・子育てフェスティバル実行委員会構成団体として理事長実行委員長、また実行委員会事務局として参加した。開始当日は出展者として子育て応援・子育て情報ブースに、こども広場「じゃん・けん・ぽん」、「パパ講座」「チャイルドライン」が参加した。<br><br>１　事業内容<br>(1) 開催日時　令和７年 11 月９日（日）　午前 10 時～午後３時<br>会場　　篠ノ井交流センター・かがやきひろば篠ノ井<br>テーマ　　子どももおとなも新しいハッケン！<br>～あそぼう・はなそう・つながろう～<br>主催　　ながの子ども・子育てフェスティバル実行委員会<br>参加対象　子ども・保護者、子育て支援団体<br><br>(2) 実績<br>来場者総数　　1,600 名<br>参加団体数　　61 団体 | | |

## 3　休日マタニティセミナー（長野市保健所との協働事業）

| | | | |
|---|---|---|---|
| | １　日　時：毎月第３日曜日　10:00～12：30<br>２　会　場：もんぜんぷら座こども広場・もんぜんぷら座会議室<br>３　スタッフ：助産師　３人、栄養士 １人、<br>４　対　象：第１子出産予定で妊娠 20～30 週の妊婦とその夫（家族）のべ<br>１９２組<br>５　内容等<br>・講話（妊娠中の食生活、赤ちゃんのいる生活・母乳の育児等）<br>・体験学習（沐浴・赤ちゃんのお世話） | 12 回 | 192 組 |

## 4　あそびましょう

| | | | |
|---|---|---|---|
| | もんぜんぷら座こども広場「じゃん・けん・ぽん」に出て来にくい東部保健センター地域に出向き、地域密着の保護者の育児支援を保健センター保健師等と共催で行った。<br>1　開催日　毎月第２、４木曜日を中心に月２回<br>2　開催場所　長野市東部保健センター<br>3　対 象　１歳から３歳までの未就園児とその保護者<br>4　内 容　手遊び・体操、ワンポイントアドバイス | 0 歳～2 歳児<br>12 回<br>2 歳以上児<br>12 回 | 195 組<br><br>93 組 |

## 5　ふたご・みつご広場

| | | | |
|---|---|---|---|
| | 長野市保健所との協働事業、北部保健センターと共催。<br>多胎児親子向けの遊びの広場を長野市民生児童委員協議会主任児童委員部会のボランティアと運営した。<br>日時　毎月第１月曜日　10 時から 11 時 30 分<br>予約なし | 12 回 | 81 組 |

## 6　ひとり親家庭交流会

| | | | |
|---|---|---|---|
| | 長野市子育て家庭福祉課と連携し、ひとり親家庭交流会を開催した。<br><br>日時　：　10：30～12：30<br>9 月 23 日　参加者数　大人 7 人、こども 7 人<br>11 月 10 日　参加者数　大人 6 名、こども 6 名<br><br>内容 ：<br>大人　地下 BOX３<br>「子育て世代のマネーセミナー」<br>講師　牧　博美氏（ファイナンシャルプランナー）<br>こども　わくわくカフェ<br>食育講座「作って食べよう！」<br>秋色のチーズ蒸しパン、ミネストローネ、牛乳寒天デザート<br>講師　岡村恵美子 | 2 回 | 大人<br>13 名<br>こども<br>13 名 |

## 7　各種委員会への出席

| | | | |
|---|---|---|---|
| | 理事長以下担当理事が出席<br>・長野市社会福祉審議会児童福祉専門分科会<br>・SaSaLAND（ササランド）運営委員会<br>・要保護児童対策協議会<br>・ながのこども財団評議員会<br>・自殺対策推進ネットワーク会議<br>・都市内分権審議会<br>・社会教育委員会議 | | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| | ・おひざで絵本選定委員会 | | |
| 地域との連携 | | | |
| １　地域との連携 | | | |
| | 中心市街地を中心に権堂町等地域の行事に積極的に参加した。<br>７月　　・・権堂たなばた<br>２月　　・・灯明まつり　　ゆめ灯り絵展に出展 | | |
| 他機関との連携 | | | |
| １　長野労働局との連携 | | | |
| | 長野労働局が開催した「子育て女性に対する就業支援事業」における受講者の託児を実施した。 | 9回 | 託児9名 |

## ＊チャイルドライン事業＊

| チャイルドライン | | |
|---|---|---|
| | １　チャイルドラインながの運営<br>(1) 受付業務<br>週２日、月・水曜日の午後４時から午後９時まで開設<br>(2) 講座の開催<br>①　「第２３期受け手養成講座」(全10回)<br>9/6、9/13、10/4、10/11、11/15、11/29　　受講者７名<br>②　継続研修<br>・養成講座と並行して（全10回）受け手支え手　受講者延べ160名<br>・チャット研修会　2/14　　受講者12名<br>(3) 定期総会　6/7　　参加者17名<br>(4) 運営委員会　　11/29　17名参加　　3/7　17名参加<br>(5) 事務局会議　　月２階　３名<br>(6) 専交流会　　4/20、1/11<br>(7) 事務所の運営　　事務局３名を置き、業務を分担<br><br>２　広報<br>県内の子どもたちや行政・地域の方々に理解、支援してもらうための周知活動<br>(1) 実績やデータの入ったパンフレットを作成・配布<br>(2) 社会福祉協議会施設、図書館等へ養成講座の案内チラシを配布<br>(3) 信濃毎日新聞・地域紙へ養成講座募集案内掲載を依頼<br>(4) ポスター、カードを児童館、フリースクール、子ども食堂、小児科へ配布<br>(5) ながの子ども子育てフェスティバル　パネル展示と出展（工作）　11/9<br><br>３　長野県チャイルドライン推進協議会の事業に参加・協力 | |

(1) 定期総会　　4/17　　場所：県庁議会棟
(2) 合同研修会　6/8　　場所：篠ノ井交流センター
(3) カード、ポスターに関わる活動
　点字カード作成依頼（市立長野高校）　5/19
　チャイルドラインカード仕分け　6/23、25、30　県庁へ搬入　7/3
(4) 運営委員会　（全５回）ZOOM にて開催　　5/23、7/14、9/22、11/19、1/21

## ４　チャイルドライン支援センターの事業に参加・協力、北関東信越エリア会議

(1) 支援センター総会　6/14
(2) カード、ポスターに関わる協力
　夏の全国キャンペーン　　児童館、小児科等へポスター配布　7/16
(3) 全国運営者意見交換会　　12/20　　場所：浅草橋
(4) エリア研修「SNS と子どもたち」　須永祐慈氏　　10/26　ZOOM 開催
(5) エリア会議（10 団体）　9/28、1/17　　ZOOM 開催

## ５　もんぜんぷら座　関係

(1) 運営員会　4/18、6/20、7/18、8/22、9/19、10/17、12/19
(2) 消防訓練　6/24、10/24

## ６　財政・渉外

(1) カード協賛依頼　　８件
　長野県小児科医会、(株)本久ホールディングス、栗田病院、竹内こども医院、鈴木眼科医院、タイヤ&ホイールＭＡＮＥＫＩ－ＭＯＡＩＺＯＵ、ながのりんどうライオンズクラブ、ホクト（株）
(2) 寄付金　　23 件
(3) 賛助会費　団体 3 件　　個人 21 人
(4) 募金箱の設置・・・22 ヶ所

◎　経費の配分
・「受け手」養成講座実施
・「受け手」「支え手」のための研修会を実施
・事務局員の配置
・事務所諸経費（管理費、専用電話、光熱費・備品等）
・チャイルドライン事業を地域社会へ周知し、理解と支援を図るためのパンフレット作成費
・チャイルドライン支援センター、長野県チャイルドライン推進協議会の事業への参加
・運営に当たって必要が生じたもの

◎活動人員数（2026 年 3.31 現在）
電話：支え手　登録数　 4 名・実働数　 3 名
　　受け手　登録数　34 名・実働数　23 名
チャット：支え手　登録数　4 名・実働数　1 名
　　受け手　登録数　9 名・実働数　4 名